

大田区自立支援協議会だより

編集・発行 大田区自立支援協議会
事務局 大田区福祉部障害福祉課計画担当
電話 03 (5744) 1700
ファックス 03 (5744) 1555

第3号 平成25年3月

「大田区自立支援協議会」は、障がい者及び障がい児の地域における自立した生活を支援するため、相談支援事業をはじめ、地域の障がい福祉の課題について具体的な検討を行うことを目的として区が設置しています。協議会委員は、障がいのある方や障がい福祉に係わる様々な分野の関係者で構成しています。

● 運営会議も活動中

大田区自立支援協議会 会長 志村 陽子

「運営会議」は平成22年度に「あり方検討委員会」として立ち上がり、その有り様を全体会で検討したのち、翌年から現在の形で動いています。

今年度は「自立支援協議会として検討して欲しい」という要望に応え、10月にこども家庭部子育て支援課が手がけている、(仮称)「サポートブック(素案)」について広く意見交換をする場として開催。現在の専門部会で担いきれていない発達障害のある人たちへの継続的な支援を支えるツールについて、話し合うことができました。担当課からの取り組み説明を受け、協議会委員、専門部会委員それぞれからその立場により新しい視点を持った積極的な意見が出され、より良いツールとなるような発展的な話し合いが持たれたと自負しています。また、協議会としても、ここまで問題視はされていたものの、それを主に取り組むことのできにくかった「子育て・教育」の部分について、今後取り組んでいく必要を感じさせられる良いきっかけを得ることができました。

また、今年度協議会として担っている、(仮称)「障がい者総合サポートセンター」の計画について、ここまでそれぞれの専門部会において話し合われてきたことをもとに、次年度へも引き続き大いに積極的な意見交換をする場として、その役割を果たせるよう努めていきたいと考えています。

● 「サポートブック・かけはし」

子育て支援課子育て支援担当係長 澤 健司

「サポートブック・かけはし」は、発達障害のある方の基本情報や支援情報を一冊のファイルにまとめて、支援機関などへの情報提供に役立てたり、成長記録として残していくものです。幼児期から成人期まで切れ目のない継続した支援を支えるツールとして、大田区の関連部局が連携して作成しました。

その素案について、関係者の方々から意見・要望を頂くなかで、24年10月には、自立支援協議会運営会議の場をお借りして、17名の委員の方々に活発な意見交換をいただきました。それらの意見を加えた上で作成し、25年3月21日には大田区ホームページからダウンロードしていただけるようになりました。

この「サポートブック・かけはし」は、利用者や関係者のご意見も伺いながら、必要に応じて改良をしていく予定です。今後も、発達障害の方と家族を支援する施策を推進していきたいと考えておりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



地域に飛び出して

防災部会

防災部会は、他の部会よりも参加者がとても多いという特徴があります。協議会の委員の他、外部の関係者、警察、消防、学校、医療機関などの関係の方と話し合いを重ねてきました。今年度は、当事者・家族、支援者など、要援護者となりうる立場から伝えられることを行っていき、地域の防災訓練に参加してきました。



訓練場所：入新井第一小学校

平成24年8月26日(日)大田区総合防災訓練(入新井地区)

災害時、例えば道をふさいでいる車があると、緊急車両は通れず、避難する際にも通行が困難になる事があります。そういった場合の対応方法として、タイヤに専用の器具を取り付け、その車を移動させる様子を警察の方々が公開してくれました。また、消防の方の指導の元、放水訓練なども体験する事が出来ました。また、この訓練で感じたことは、天候への対応の難しさです。この日は非常に暑く、皆さん首に冷感タオルを巻くなどして自衛されていました。天候に合わせた過ごし方の工夫も『自助』であると感じました。

平成24年11月11日(日)大田区総合防災訓練(千歳地区)

この日の訓練は、大森第六中学校の生徒さんたちが、地域に設定された一時避難所に集まった要援護者を避難所となった学校まで避難誘導してくれました。生徒さん達は、初めこそとても緊張した様子でしたが、避難移動している中で参加者の方たちと、要援護者は何を必要としているのか、支援者としてはどんなことをしたら良いのかなどざっばらんに話すことで次第に打ち解け、結果、とても丁寧に対応してくれました。また、それらの話を元に、生徒さん自身が、気付きや配慮といったことを考えてくれました。避難場所でも重要な統率感があり、非常に心強く思いました。



訓練場所：大森第六中学校

平成24年11月11日(日)池上地区の防災を考える会

この日の訓練は雨で寒さが厳しく、再度天候に対する対処方法の重要性を感じました。

また、地域の方々の防災意識の高さを感じました。それだけに、倉庫の整理の難しさや物資の取り扱いの重要性を感じました。倉庫の中には避難用具や備蓄品など備えられています。しかし、リヤカーが倉庫の備蓄品等の奥に置かれていたのです。細かな点ですが、参加者の方々が高い意欲で訓練を行ってくれていたがゆえに、我々も普段気付かないような点まで考えをめぐらすことが出来ました。



訓練場所：池上第二小学校

平成24年11月18日(日)大田区総合防災訓練(蕨谷地区)

この日の訓練は東蕨谷小学校にて行われ、煙体験や放水訓練に参加しました。

また、福祉避難所として指定されている大田区立うめのき園を公開しました。福祉避難所というのは、通常の避難所が人であふれた時などに、行政の判断の下、要援護者用に開かれる避難所です。通常は施設として運営されているため、避難所としても要援護者には多大な助けとなる設備がそろっています。ただ、福祉避難所というものの存在が広く浸透しているわけではないため、この日の公開を機に、他の福祉避難所となる施設も地域に広めていく重要性を感じました。



訓練場所：東蕨谷小学校(写真はうめのき園)

活動しています！

相談支援部会

9月4日に「障害者虐待防止法」施行に向けた研修会が、区民ホールアブリコ・小ホールで行われました。

研修会では、講師に東洋英和女学院大学教授の石渡和実先生をお招きし、まず同法成立の背景、同法の概要、虐待の事例を説明していただき、さらに権利擁護とエンパワメントなどこれから求められる支援のあり方もお話いただきました。当日は、126名の方にご参加いただきました。6割近くが施設関係の職員で、あとは区職員、自立支援協議会関係者でした。

アンケート結果では9割以上の方が「参考になった」「ある程度参考になった」とお答えいただき、この研修会はおおむね好評でした。またアンケートを見ると、現場から寄せられた意見には「日常を検証」など施行に対し前向きに取り組もうと言う声がありました。また、「本人に寄り添う」「その人らしい支援」など私たちの意識を再確認しようという意見もありました。さらに「各層の研修会」を、という声もいくつかありました。



精神障害者の就労支援部会

精神障害者の就労支援部会では、部会独自の取り組みとして前号でご紹介した「精神障害者の職場体験実習」を実現させました。

昨年度末主催した企業向けセミナーの参加企業にアンケートをとり、体験実習受入れ可能とお答えいただいた3社に、昨秋計7名の精神障害者が実習し、無事体験を終えることができました。多岐に渡る部会委員の専門性を生かし、実習先の喫煙所の有無を聞き取ったり、プレッシャーにならない情報提供の仕方を模索したり等、参加者の気持ちに寄り添い、丁寧な実習設定を行えたことが成功につながりました。

取り組みはここで終わらず、2月には実習体験者による報告会を開催しました。体験者の生の声を聞き、「次は自分も」と触発される方が一人でも増えることを期待します。

地域資源評価開発部会

(仮称)障がい者総合サポートセンター<以下サポートセンター>の建設は、来年度(平成25年度)には本格的に予算決定がされるなど着実に進行している区プロジェクトです。

地域資源評価開発部会では、24年度後半は大田区役所内職員で発足された「サポートセンター再構築庁内検討委員会(作業部会)」から提示された課題の検討を行っております。そこで提示された課題は、ソフト面からハード面までと想定される多岐に渡った内容を含んでいます。そのなかで、本部会は、一区民として、または区内の各事業所に従事するものとして、区役所内の検討委員会の職員だけでは出てこない住民目線の意見をあげています。より良いサポートセンターが出来上がることを願って、日々検討、提言を続けております。

<～防災訓練に参加して～>

知識として知っているつもりであったことも、実際に体験してみると、新たな発見がたくさんありました。それらをただの発見として終わりにしてしまうのではなく、そこから何がどうなるのか、深く考え、今後の課題として主催者の方々と話す重要性を非常に感じました。

また、他者に理解してもらうことの難しさも痛感しました。例えば、一見して障がいがあるとわからない方は、周りの避難者から支援が必要な方だと認識されないことがあります。そうすると、設備面、特にトイレの利用など、様々な問題が発生してしまうでしょう。もちろん近隣の方が助けてくれることもあると思いますが、やはり一人でも多くの人が正しい知識を持ってくれることの重要性を強く感じました。

今回、中学生、地域の方々、警察・消防の方々、そして参加して下さった委員、関係者の皆様、多くの方のお力を借りて、次につながる防災訓練を行うことが出来ました。ありがとうございました。みなさんも、参加されたことがない方はぜひ次回の訓練に、参加したことがある方もぜひ二度三度と参加していただき、万が一の事態に備えていきましょう。大切な事は、「力になってくれる人を一人でも増やすこと」

平成24年度 第2回、第3回全体会を開催しました

【第2回】平成24年10月23日(火)

議題

- 1、各専門部会からの検討について、中間報告
- 2、運営会議・役員会議・編集会議について
- 3、(仮称)障がい者総合サポートセンターについて
- 4、第2期大田区障害福祉計画の進捗状況について
- 5、障害者虐待防止法施行について

【第3回】平成25年3月5日(火)

議題

- 1、各専門部会からの検討について報告
- 2、平成24年度の協議会活動のまとめ(協議)
- 3、平成24年度大田区自立支援協議会報告書の作成について
- 4、平成25年度の大田区自立支援協議会の活動について
- 5、(仮称)障がい者総合サポートセンターについて

第2回の傍聴者は19名(一般の方8名、区職員11名)、第3回の傍聴者は30名(一般の方20名、区職員10名)でした。全体会は公開されており、会議録や会議資料は区HPに掲載します。

協議会活動の根幹を成す会議であり、この「たより」とともに協議会活動を広く知っていただける機会でもありますので、今後もより一層の機能の充実を図ってまいります。

平成25年度第1回目の全体会は、4月23日(火)午後の予定です。

委員の皆様
1年間お疲れ様でした

★ 大田区自立支援協議会 ホームページ<http://www.city.ota.tokyo.jp/> ★

大田区役所HPトップページ⇒福祉⇒障害者の支援(難病の方への支援も含む)⇒大田区自立支援協議会
大田区自立支援協議会全体会・専門部会の活動報告、「大田区自立支援協議会だより」バックナンバー、
大田区自立支援協議会設置要綱、平成24年度大田区自立支援協議会委員名簿 等が閲覧できます。

<平成24年度 活動報告>

4月18日(水)CATV(シティニュースおおた) 番組収録(たすけてねカードについて)	9月4日(火)第5回相談支援部会 4日(火)研修会『障害者虐待防止法施行に向けて』 (相談支援部会企画)	12月4日(火)第8回相談支援部会 4日(火)東京都自立支援協議会セミナー参加 13日(木)第2回編集会議
24日(火)第1回全体会	18日(火)第5回地域資源評価開発部会	18日(火)第8回地域資源評価開発部会
5月8日(火)第1回相談支援部会	19日(水)第5回精神障害者の就労支援部会	19日(水)第8回精神障害者の就労支援部会
15日(火)第1回地域資源評価開発部会	20日(木)第5回防災部会	20日(木)第8回防災部会
17日(木)第1回防災部会	10月2日(火)第6回相談支援部会	1月7日(月)第3回運営会議
23日(水)第1回精神障害者の就労支援部会	10日(水)第2回運営会議	8日(火)第9回相談支援部会
6月5日(火)第2回相談支援部会	10日(水)第2回役員会議	15日(火)第9回地域資源評価開発部会
6日(水)第1回役員会議	16日(火)第6回地域資源評価開発部会	16日(水)第9回精神障害者の就労支援部会
18日(月)第1回編集会議	17日(水)第6回精神障害者の就労支援部会	17日(木)第9回防災部会
19日(火)第2回地域資源評価開発部会	18日(木)第6回防災部会	31日(木)川崎市障害者地域自立支援協議会 シンポジウム参加
20日(水)第2回精神障害者の就労支援部会	23日(火)第2回全体会	2月5日(火)第10回相談支援部会
21日(木)第2回防災部会	11月6日(火)第7回相談支援部会	5日(火)職場体験実習報告会 (精神障害者の就労支援部会企画)
26日(木)第1回運営会議	11日(日)大田区総合防災訓練(大森六中)参加 (防災部会中心)	19日(火)第10回地域資源評価開発部会
7月3日(火)第3回相談支援部会	11日(日)池上地区防災を考える会参加 (防災部会中心)	20日(水)第10回精神障害者の就労支援部会
17日(火)第3回地域資源評価開発部会	15日(木)第7回防災部会	21日(木)第10回防災部会
18日(水)第3回精神障害者の就労支援部会	18日(日)大田区総合防災訓練(糞谷地区)参加 (防災部会中心)	28日(木)研修会(相談支援部会企画) 『本人中心のケアマネジメントとは』
19日(木)第3回防災部会	21日(水)第7回精神障害者の就労支援部会	3月4日(月)ヘルプカードセミナー参加(東京都主催)
8月7日(火)第4回相談支援部会	27日(火)第7回地域資源評価開発部会	5日(火)第3回全体会
16日(木)第4回防災部会	27日(火)ヘルプカードセミナー参加(東京都主催)	
21日(火)第4回地域資源評価開発部会		
22日(水)第4回精神障害者の就労支援部会		
26日(日)大田区総合防災訓練(入新井地区)参加 (防災部会中心)		

<編集後記> 第1号の発行からあつという間に1年がたち、協議会だよりも第3号目となりました。今後のたよりも、わかりやすく読みやすい広報紙を目指して行きたいと思えます。

協議会委員・専門部会委員の皆様、各関係機関の皆様、そして、協議会だよりを読んでもらった皆様。1年間大変お世話になりました。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。